

# 徳島県インフラDX推進プランの進捗状況について (令和5年度)

## 学識経験者や専門家の主な意見

### 1. デジタル人材の育成・環境整備

- DX導入に向けた組織体制の見直しが必要（外部専門家の派遣など）
- 人材育成を図る研修内容の見直しが必要
  - ①全体を底上げするのか、個々の能力を上げるのか検討
  - ②若手と年配者をペアにした研修
  - ③いつでも受講可能とするため、講習会を動画撮影し、Web公開
  - ④理解度の確認や向上を図るため、3次元データを元に2次元データを作成
  - ⑤自治体職員を対象としたデジタル教育の充実が必要（ドローンなど）
- 誰でも講習会に参加できるように周知方法の見直しが必要

### 2. 非接触・リモート型の働き方への転換

- 業務の効率化を図るため、自治体は国の要綱や運用に合わせた見直しが必要（遠隔臨場の記録写真など）

### 3. 3次元データの利活用により効率化を実現

- CIMなどデジタル化を進めるためには、発注者指定型の導入が必要
- DXの推進においては、発注者の職場環境の充実や意識改革が必要
  - ①CIMは、施工ステップや鉄筋干渉チェックなど受発注者にとって有効
  - ②地元や関係機関との協議内容を記録することで、後続工事の早期着手に寄与

### 4. i-Constructionを推進し、施工やインフラメンテナンスの現場を変革

- 生産性向上を図るため、ICT施工の普及・拡大に向けた取組が必要
  - ①ICT施工はマネジメントが重要であり、アドバイザーの積極的活用が有効
  - ②インセンティブではなく、段階的なペナルティが必要

### 5. その他

- 災害対応へのDX活用も重要（カメラ、スマートフォンなど）
- DX推進プランの進捗状況をとりまとめて、ホームページで公表して欲しい